



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛を持って行動しよう」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
あずさ部部長主題 「垣根を低くし、活発な活動を」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」

2025 年 9 月号

NO 588

善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。
テモテへの手紙16章18節



左写真は会場の前での記念写真。
今年1番の猛暑日だったので、街なかに出る気が失せて二次会に向かいました。
右写真は藤井寛敏元国際会長と当クラブの吉田明弘さん、イイ笑顔です！

－ 8 月合同例会報告－

8月30日(土)、新宿西口の「銀座ライオン」で納涼例会を開きました。場所が分からずそれぞれが迷いながらも何とか到着、多彩なゲストをお迎えして、さっそくビールで乾杯、一息ついてプログラムが始まりました。

二つの大テーブルに分かれての会食でしたが、冷えた大ジョッ

キのビールは美味しく3クラブ合同ならではの賑やかなひとときでした。(篠原文恵)

出席者：＜メンバー＞中村・山口・渡辺(東京武蔵野多摩)、小原・服部・藤江(東京たんぽぽ)、大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野絢・村野繁・吉田(東京西)、＜ビジター＞藤井寛敏(東京江東)・久保田貞視(東京八王

子)・小仁恵子(東京グリーン)・山口和彦(東京町田コスモス)・田附和久(東日本区担当主事)



クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 繁
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

8 月 の 記 録

在籍者数	11人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	13,720円
出席者数	9人	たんぽぽ	3人	クラブファンド	0円
メーキャップ	1人	ビジター	4人	ファンド残高	44,715円
出席率	91%	ゲスト	1人	ホテ校ファンド	0円
ZOOM参加	一人	出席者合計	22人	ホテ校残高	6,023円

9月合同例会のご案内

強調テーマ：

受付：篠原・服部・山口
司会：小原史奈子

今月は東京サンライズクラブの大谷博愛さんに卓話をお願いしました。

ZOOMでも発信しますので、参加をご希望の方は、たんぽぽクラブの小原史奈子さんにご連絡下さい。

日時：9月18日(木) 18:30～20:30
会場：東京YMCA山手センター 303号室
会費：1,500円

HAPPY BIRTHDAY

15日 村野 繁 17日 中澤 正子
23日 本川 悦子 宮内 友弥
27日 波々壁 泉

開会点鐘 東京たんぽぽクラブ会長 藤江喜美子
ワイズソング・モットー ー 同
聖書朗読 司 会 者
ゲスト・ビジター紹介 3クラブ会長
入会式 司式：あずさ部長・山口直樹さん
食前の感謝と黙祷 ー 同

卓話 「平和を求めて—理想を現実に—」
大谷博愛さん（東京サンライズクラブ）

ハッピーバースデー ー 同
ニコニコ ー 同
連絡・報告 各 担 当
閉会点鐘 東京西クラブ会長 神谷幸男

—8月事務会報告—

- 日時：8月28日(木)
16:30～17:55
会場：阿佐谷地域区民センター
第8集会室
出席者：神谷、篠原、本川、村野
絢、村野繁
＜報告事項＞
◇8月例会報告
◇会計報告
◇YVLFクラブ負担金(1,500/人、
支払 2025/2/15)
◇臨時代議員会（電子的手段による）報告
第1号議案 2024-2025年度東
日本区会計決算承認の件…承認可決
第2号議案 東日本区定款の改
正の件…承認可決
＜協議事項＞
◇東京 YMCA チャリティランに
ついて
参加費（クラブ負担金）25,000
円
◇十勝クラブワイズポテトファ
ンドについて…クラブ事業と
して行わない。
◇各行事・集会参加者について
◆9/27-28 富士山例会（9/10
㊞切、ク単位）…参加者6名（篠

原、本川、村野絢子、村野 愛、
村野温子、他1名

◆10/25-26 栄村コシヒカリ
特別例会…現在3名（神谷、篠
原、本川）、案内書あり

◇ブリテン9月号執筆者

◆8月例会報告=村野繁

◆特別記事：（随筆）：「夏の思
い出」をクラブメンバー全員に
執筆依頼。

◇10月例会について

◆候補その1：中村哲活動記録
DVD 上映…上映に関する詳細
を調査する（担当：会長）。

◆候補その2：インターナシヨ
ナルスクールの教師による卓
話…内容、都合等について調査
する（担当：会長）。

（神谷幸男）

卓話者紹介

大谷博愛（おたに・ひろちか）さん

1947年札幌生まれ。YMCA
には小学生時代から少年部の
メンバーとなってキャンプ等
諸行事に参加し、1967年に山
手学舎に入舎して東京YMCA
の会員になる。

1989年、東京サンライズク
ラブのチャーターメンバーと
してワイズメンとなる。

30歳から40年間教壇から
学生に政治学を講義し、現在
は年金生活者。





「夏の思い出」



男の子が生まれました！

波々壁 賢



今年の5月に第1子の男の子が3,486kgで誕生しました。あっという間に4ヶ月が経ち、現在では生まれたばかりのか弱い面影も無くなり、体重も7,500kgと倍以上に増えてムチムチボディが完成しております。ミルクの量もぐんと増えて、毎日成長しているのを感じております。

一方で、仕事の面では今年の4月から学校内での担当業務が変わり、これまで以上に忙しい日々を送っております。そんな中、妻には朝から夜まで育児を任せる場面ばかりで、感謝と申し訳なさでいっぱいですが、うまく伝えられておりません。忙しいことを言い訳にせずに、妻を労うタイミングを作ろうと考えています。

慌ただしい毎日ではありますが、子どもの笑顔や成長を見て「自分ももっと頑張ろう」と、背中を押される思いです。まだまだ始まったばかりで手探りの育児ですが、これからみなさまにアドバイスをいただきながら、一歩ずつ家族で成長していけたらと思っています。今後とも温かく見守っていただけると嬉しいです。引き続きよろしくお願いいたします。

東日本区YVLFの報告を読んで

神谷 幸男

今年度のユースボランティアリーダーズフォーラムは9月5日

(金)から7日(日)に、富士山YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジで行われました。詳細な報告は後日公開されると思いますが、同フォーラムの実行委員長を務められたユース事業主任・三田庸平さんの報告を拝見して素晴らしいフォーラムであったと思いました。

特に、建設的な意見が多く出され共有されたとのこと。「ハチドリの1滴運動をしよう」、「小さな積み重ねが環境問題の改善の1歩になる」という話になった、「1年後に各YMCAでどんな成果や活動ができたか、集まった話し合いもできたらうれしいなあ」等々。初期の成果は直ぐには現れては来ないでしょうが地道に実行していれば時を経て現れてくるでしょう。

我々はいいい思い付きは屡々(しばしば)経験するところですが、成果を思い実行することの困難さを先に思いめぐらしてしまい、自ら断念してしまうことが多いように思いますが、先ずは実行することが第一であることを改めて学ばせてくれました。

わが家で作ったかき氷

本川 悦子

今年は気温37度と言われてもびっくりしない夏でした。

暑い時の食(飲)物はビール、冷ややっこ、ソーメン、かき氷が思い浮かびます。

先日3クラブ合同例会が終わってから、「ガスト」で山盛りのかき氷を食べました。男性は小サイズ、女性は大盛りを注文しました。もちろん私は完食しました。子どものころはよく家でかき氷を食べました。まだ電気冷蔵庫ではなくて、氷を入れて冷やす木の冷蔵庫でした。おやつに冷蔵庫の氷を削って食べました。

パソコンのマウスを大きくしたような容器の底に刃がついて

いて、それで削って食べるのです。今の氷のようにふわっとした氷ではなくて、粗削りの氷に明治屋のシロップをかけて食べました。氷は、毎朝氷屋さんが、むしろに包まれた氷をリヤカーに乗せて売りに来ました。

母は、「今日は二貫目ください」と言って買っていました。氷屋さんは、のこぎりのような大きな刃物で、計らずに正確にギコギコと切り分けます。

まっすぐに物を切るのが下手だった私は、絶対に氷屋さんにはなれないと思いました。

今は氷屋さんのお店はビルになり、隣の喫茶店でふわふわの氷が食べられます。

隅田川花火と尾瀬の旅

篠原 文恵

娘夫婦は子どもが生まれる前スカイツリーの近くに住んでいたため、ある年マンションの屋上で寝そべって隅田川花火を鑑賞したあと、そのまま息子の車に乗り4人で尾瀬に向かいました。

沼山峠に車を置き、大江湿原のニッコウキスゲを見たあと尾瀬沼から見晴までゆっくり歩き、2泊して尾瀬ヶ原を散策しました。

最終日は、平滑ノ滝、三条の滝を見て燧ヶ岳の中腹を縫いながら御池に向かうのですが、前回の旅で私だけが途中でダウンしたので、今回は最後まで荷物を全部息子に預けて快適なトレッキングとなるはずでした。

ところが田代あたりで1人旅の初老の男性がうずくまっているのに遭遇、山中なのでそのままにはできず皆で一緒に下山することにしました。男2人は男性の体を支え、娘はその方の荷物を持ち、私は自分の荷物を持ち、御池まで無事下山して、地元の方にあとをお願いし、沼山峠から日帰り温泉に寄って疲れた体を癒しました。

日々の中から おばあちゃんの歌

村野絢子

沖縄戦 80 年「慰霊の日」戦没者追悼式で、小学 6 年の城間君が朗読した「平和の詩」。

毎年ぼくと弟は慰霊の日におばあちゃんの家に行き、仏壇に手を合わせ、ウートーをやる。1 年に 1 度だけおばあちゃんが歌う。「空しゅう警報聞こえてきたら、今はぼくたち小さいから、大人の言うことよく聞いて、あわてないで、さわがないで、落ち着いて、入っていきましょう防空壕」5 歳の時に習ったのに 80 年後の今でも覚えている。笑顔で歌っているから楽しい歌だと思っていた。もうひとつ 1 年に 1 度だけおばあちゃんが歌う。「うんじ

ゆん わんにん 艦砲めくえー
ぬくさー」泣きながら歌っているから、悲しい歌だと分かっていた。歌った後に「あの戦の時、死んでおけば良かった」と言うからぼくも泣きたくなった。

沖縄戦の激しい艦砲射撃でケガをして生き残った人のことを「艦砲射撃の食べ残し」と言うことを知って悲しくなった。おばあちゃんの家族は、戦争が終わっていることも知らず防空壕に隠れていた。戦車に乗ったアメリカ兵に「デテコイ」と言われたが、戦車でひき殺されると思い出できなかった。手榴弾を壕の中に投げ入れられおばあちゃんは左の太ももに大けがをした。うじがわいて何度も皮がはがれるから、アメリカ軍の病院でけがをしていない右の太ももの皮をはいで皮

膚移植をして何とか助かった。

5 歳のおばあちゃんが防空壕での歌を歌い、「艦砲射撃の食べ残し」と言われても生きていてくれて本当に良かったと思った。おばあちゃんに生きていてくれて本当にありがとうと伝えようと、両手でぼくのほっぺをさわって「生き延びたくとうぬちぬちるがたん」生き延びたから命がつながったんだねとおばあちゃんが言った。

80 年前の戦争でおばあちゃんは心と体に大きな傷を負った。その傷は何十年たっても消えない。人の命を奪い苦しめる戦争を 2 度と起こさないように、おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく。おばあちゃんが繋いでくれた命を大切に一生懸命に生きていく。

(6 月 23 日東京新聞夕刊より)

YMCA Today

■ホテル学校は夏季休暇中に行われたリゾートホテル実習が無事終了しました。国内旅行者だけではなく外国人旅行者は増加し続けており、様々な形で旅行を楽しむお客様をサポートする喜びややりがいを体感できたかと思えます。また、親元を離れ実習をしながら寮生活で家事をするなど、これまでにない経験が今後の生活や就職活動に、そして社会人への一歩へと結びついていくことと思えます。

9 月からの 2 学期が始まり、2 年生は選択授業で資格取得を目指すなど、専門性に磨きをかけていきます。野尻湖スポーツキャンプやチャリティーラン、山手まつりなど YMCA のイベントに参加する機会もあり、残りの学校生活も思いっきり楽しんで欲しいです。

■8 月 1 日～8 月 18 日、東陽町コミュニティセンターで、「長崎原爆被災写真」パネル展が開催されました。長崎の原爆資料館所有の長崎原爆被災写真パネル原子

爆弾に関する貴重な資料の展示を通して、平和といのちの尊さを考える機会となりました。

■8 月 8 日～8 月 12 日、「キッズワールドカップ in 韓国」がソウル YMCA タラグオンキャンプ場で開催。東京 YMCA からは小学生 2 人と引率スタッフ 2 人が参加し、名古屋 YMCA のメンバーと一緒にチームを組みました。韓国・香港・日本の子どもたちが、サッカー試合やレクリエーション、韓国文化体験等を通して交流を深めた。

■今夏、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、約 600 名が参加。海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの 4 コースに 27 人が参加し、無事に終了しました。

■「第 39 回インターナショナル・チャリティーラン」が 9 月 27 日（土）に 都立木場公園で開催予定です。

担当主事 波々壁 賢

編集後記

ゲリラ豪雨、線状降水帯など、耳新しい気象用語(?)が毎日飛び交っています。青菜に塩でげんなりしていましたが、やっと長い夏も終わりそうです。

昔は夕立のあとはスーッと涼しい風が吹きわたり、入道雲が綺麗な印象に見えました。小学生の時、学校行事で隣のサーカスを見に行ったあとひどく濡れて帰宅し、着ていた洋服の色が下着に染まり大笑いしたことなどを懐かしく思い出します。

現代の子どもたちは日中のプール授業にも制限があるとか、願わくば毎年避暑に出かけたいものですが、せめて老人ホームは涼しいところを探してほしいと子どもたちに頼んでいます。

(F. S)

